

【令和2年度】文科省レポートについて

過日、文部科学省より令和2年度卒業後状況調査

<2-1 状況別卒業生数>について集計区分の変更が発表されました。

キャリアタス UCにおきましても文科省統計の出力機能を持っておりませんが、変更内容を確認し、以下対応を行います。

1) 令和2年度向けの統計出力について

機能改修を行わず各学校様で当該値を集計、必要に応じて集計値を変更する

2) 令和3年度向けの統計出力について

進路決定登録入力フォームの使用変更を行う(時期未定)

令和2年度向け統計において、機能改修を行わない理由としては以下となります。

- ・ 文部科学省からの通達が遅く、多くの学校様がすでに進路決定届の多くを入力・登録済である
- ・ 新しい帳票に対応するためには、学生にヒアリングをして区分を決める必要がある
- ・ 集計変更となる対象学生は全体数に比べ少数と思われる

令和2年度向けにおける集計においての、主な集計変更点は以下となります。

※学校様により設定マスタ/マッピングの指示は異なるため、一律この通りではございません。

A 正規雇用者と自営業主の分類

現ロジックでは、雇用形態の選択において分類を行っております。

新ロジックでは、自営業主(F)を切り出して統計値としていただく必要がございます。

B <一時的な仕事に就いたもの>について、1か月未満と、1か月以上との分類

現ロジックでは、雇用契約1か月未満を一律に

<一時的な仕事に就いたもの>と分類しております。

現集計を以下に分類をお願いいたします。

- 1・雇用契約1か月未満→臨時労働者へ (I)
- 2・1以外学生→有期雇用労働者 雇用期間1か月以上へ (H)
- 3・有期雇用労働者 雇用期間1か月以上 (H)のうち、雇用契約が1年超となる学生は再掲で集計

統計出力において、不明点などございましたらお問合せください。